

# 青少年のしろ

第 28 号

発行  
青少年育成能代市民会議

事務局  
能代市日吉町9-5(〒016-0811)  
楠 清 孝  
電話 5 3 - 5 3 4 1



11月 JR能代駅前にて  
非行防止街頭キャンペーン



健全育成県大会表彰式



7月 非行防止街頭  
キャンペーン (能高生)



11月 街頭キャンペーン  
参加者と



こども切石作々楽踊  
二ツ井中学生



最後の踊  
こども切石作々楽

令和5年の能代市の出生数は150人にすぎません。もう10か15年すれば青少年育成の対象人口がそれ以上にはならないということ。誰れの責任というのではなく、皆んなでとりくまねばならない問題ではないでしょうか。

正月元日の石川地震、翌日の航空事故、まさに一瞬の命のやりとりです。人生一寸ききはやみです。人間最後の居場所。家族でありとなり近所、地域社会です。青少年育成は大切な事業とします。皆さんががんばりましょう。

近年IT産業の発展はすさまじく、スマホを持つて常に手にして動かしている様子を見ると異様としか思えません。久しぶりに電車に乗りましたら、ほとんどの人がスマホをいじっていました。年齢は関係ないよう。一車輛で何もしてないのは私たち夫婦だけでした。下をむいて、せつかくのいい景色も見ないで、乗降の人々の動きにもまったく無関心で自分のめざす駅に着けばだまって降りて行く、時代おくれの書き出しで申し訳ありませんが、このようなことが親子・家族の断切が拡がること人口減少につながり、少子高齢化社会がますます進むのではないのでしょうか。



青少年育成能代市民会議

会長 田中 仁純

「青少年のしろ」の  
発行にあたり

# 青少年育成能代市民会議

## ● 年間の行事

- 四月・役員会・常任委員会
- 五月・県民会議総会
- 六月・市民会議総会
  - ・ 社会を明るくする運動
  - ・ 幹事会・推進委員会
- 七月・社会を明るくする運動
  - ・ 「総理大臣メッセージ」伝達とパレード
  - ・ 非行防止街頭キャンペーン
- ・ 「第四五回少年の主張」県北大会（能代市文化会館）全県大会（秋田市泉中）
- 八月・新成人への祝詞
- 九月・役員会
- 十月・二ツ井駅前ホワイトポスト清掃
  - ・ 役員常任委員会
- 十一月・市民集会
  - ・ 非行防止街頭キャンペーン
- 二月・青少年育成運動活性化研修会（横手市）
- 三月・小中卒業生への祝詞
  - ・ 「青少年のしる」第28号発行
- 五年度の事業も、皆さんのご協力により、無事終了することが出来ました事に對し、心より感謝申し上げます。
- 特に四年に一度の第四五回「少年の主張」県北大会では、教育委員会の皆さんの絶大なるご協力を頂きました事に對し、厚く御礼申し上げます。

七月と十一月の「非行防止街頭キャンペーン」では、多くの中高生の参加を頂き、広報して頂きました。又、十一月の「市民集会」も未来の能代に夢を馳せる語りは、大変参加者を喜ばせてくれました。

こうして大きな事業を終えて、新しい年を迎えた元旦に、能登半島大地震が発生、多くの死傷者と家屋や道路の損壊と大火、東日本大震災のように、復興には相当の年月が係ることでしよう。

何時災害は起こるかばかりませんで、準備をしておきましょう。新年度も何分のご協力の程、お願ひ申しあげます。

## 市民会議総会

本年度の総会もコロナによって開催出来ず、書面にて承認を頂きました。

新年度こそ皆様のご参加を頂きながら、開催出来ますことを希望しております。

明るい新年度でありますことを祈りながら、能登半島地震により子ども達の夢が消えることのないよう、心より祈っております。

## （七、十一月全国強調月間）

## 非行防止街頭キャンペーン



七月十日に内閣府が主催する「青年の非行・被害防止全国強調月間」に合わせて、市内と二ツ井五ヶ所で、キャンペーンを行いました。

二ツ井中学生八名と能代高校生五名の参加、大きな声で「非行防止街頭キャンペーンです」と、ティッシュとチラシを手渡し、広報して頂きました。

友人が悪の道にそれないように、共に明るい未来を語り合える仲間として、真つすぐに歩んで欲しいと願ひながら、その手は美しく輝いておりました。

当日は会員や役員等、七〇名余りの参加を頂き、感謝しております。

又、十一月二二日には、こども家庭庁が主唱する「秋のこどもまんなか月



間」に合わせて、JR能代駅前にて、非行防止の街頭啓発を行いました。

能代科学技術高校生八名と会員等二五名が参加し、久し振りに着ぐるみ二体が、会場をなごませてくれました。

若者達が健全に成長されますことを祈りながら、お声がけさせて頂きました。

しかし高校生達は、町中に人が少ないとの声が多く聞かれ、能代の未来を君達に託しました。

## 青少年育成能代市民集会



十一月二七日に、「秋の子どもまんなか月間」に合わせて、市民集会を開催しました。

来賓として齊藤能代市長よりご祝辞を頂き、ご講演に入りました。

今回は若い人が輝けるまちづくりに取り組んでいる、のしろ家守舎代表社員の湊哲一さんが、「みんなで考えるこの街の未来」と題して、ご講演を頂きました。

横浜から帰って来て、島町のシャッター通りと化した中心市街地に驚き、若者達が住み続けたい町にするためには、どうあれば良いのかとし



に渡り活動を始めました。

この活動に沢山の若者や市民が、協力の輪を広げていることを大切に、生き生きと住みやすい街づくりに、大いに進言をして頂きたいものです。

高齢者は嘆くばかりですが、若人は行動力があり、実現する能力を持つております。

今後とも能代の未来と発展のために、邁進されますことを、心よりお祈り申し上げます。

参加者の皆様より、大変良かったとの声多数有りました。

### 令和五年度受彰

青少年育成秋田県民会議の総会は、五月三十日に秋田市にて開催され、長年の社会貢献活動に対して、一人二団体が表彰されました。

優良青少年団体として第五小学校 JRC委員会が表彰されました。

あいさつ運動、緑の羽根や赤い羽根の募金協力、エコキャップ回収の

て、マルヒコビルでの活動、空き店舗を活用したマルシェ、畠町通りを生かした「のしろいち」等、多面

収益金で、福祉施設へ機材の寄贈等の活動が認められました。

青少年育成功労団体は東雲地区民生児童委員協議会が、地区の小

中学校や支援学校との交流事業や見守り、あいさつ運動を長年継続している事が、評価されました。

青少年育成功労者は当会常任委員の山田貢さんが受彰しました。

各事業に積極的に参加協力し、青少年の健全育成に大きく貢献したとして受彰、表彰された皆さんには、心よりお祝い申し上げます。

十一月八日には青少年健全育成秋田県大会が開催され、それぞれに県知事賞が渡されました。

社会貢献青少年団体として、淳城西小学校 JRC委員会が受彰しました。



風の松原清掃や募金活動の推進、ベルマーク・テトラバッグの回収等社会福祉貢献活動が、高く評価されました。



青少年健全育成功労団体として、能代北地区民生児童委員協議会が、通年の見守り活動や非行防止街頭キャンペーンへの参加等、健全育成に対する貢献が認められました。

青少年健全育成功労者として、当会常任委員の藤田弘子さんが、非行防止街頭キャンペーンを積極的にを行い、非行数の減少に大いに貢献したとして表彰、皆さんの活動に対し心より感謝申し上げます。

### 第45回少年の主張 県北・全県大会

第四五回少年の主張県北大会は七月十九日、能代市文化会館大ホールで、一中・二中・東中各全校生徒と会員など、約八百名以上の参加のもとに開催されました。

それぞれの思いを大勢の前で発表するという機会は少ないのですが、各自立派に主張する姿に、感動しました。

また、同年代の中学生達の態度も実に立派で、一度の注意もなく終了した事は、素晴らしい教育指導の賜と感激しております。



藤重審査委員長の講評も的確で、皆さんから



盛大な拍手を頂きました。谷内能代東中校長先生と矢田部淳城南小学校長各位に対しても、ご多忙の中ご足労をお掛けしました事に、心より感謝申

し上げます。

結果は十名の発表者の中から優秀賞に大館市立比内中二年の萬田花歩さん「AIと一緒に」、能代市立東中三年の鎌田和奏さん「もしも」の心がけを日常の中に、三種町立八竜中三年の中村心望さん「自分」らしくと題し、三名が県大会への切符を手に入れました。

県大会は九月七日に秋田市立泉中学校で開催され、比内中学校の萬田花歩さんが最優秀賞を、優秀賞には八竜中の中村心望さんが、優良賞は東中の鎌田和奏さんがそれぞれ受賞しました。

皆さんの努力が認められた最高の一日となりましたが、萬田さんの全国大会へ東北北海道代表としては、残念ながら推薦を頂けませんでした。ドクタ―への夢が実現されます事を、心よりお祈り申し上げます。

また、今回も教育委員会生涯学習スポーツ振興課の皆さんには、本当にお世話になりました。心より感謝と御礼を申し上げます。

# 第45回少年の主張 秋田県大会 県北地区予選大会



わたしの主張 2023  
第45回少年の主張 秋田県大会  
県北地区予選大会

7月19日 能代市文化会館大ホールにて



田中会長あいさつ



高橋教育長祝辞



会場風景



審査員紹介



発表 ウクライナ侵攻に思う  
東雲中2年 関根姫菜さん



表彰式  
二中3年 宮腰莉苙さん



県北大会優秀賞・県大会優良賞

### 「もしも」の心がけを 日常の中に



能代東中学校  
三年 鎌田 和奏

十一月二十六日、土曜日。午後二時五〇分。朝から大雨で、家には私と姉と祖母の三人。父は仕事で大館へ。母は、一人暮らしの実家の祖母を心配して、見に行っていた。私と姉はそれぞれにスマホを見ていた。十分ほど前までは、たまにある大雨という感じだったが、十分経った今では雨の音が強くなり、空は真っ黒に染まり、部屋の中は一気に暗くなつた。その時、姉と私のスマホから警告音が響いた。避難指示のメールだった。

これは、東中で取り組んでいる「防災小説」の私が書いた一節です。防災小説、皆さんは聞いたことがありますか？これは、大災害に遭つたことを想定し、自分が主人公の物語を書くことで、避難方法や、その時取るべき行動を具体的にイメージしておくものです。

昨年度の災害設定は、線状降水帯が発生し、能代山本地区が大雨に、学区内にある檜山川が氾濫したこと

を想定したものでした。今年七月の記録的な大雨も、秋田県内に大変大きな被害をもたらしました。大災害はいつ起こるか分らない。昨年度、防災小説を書いたことで、私は「一つの備え」ができた。具体的に避難の行動がイメージできた。そう思いました。

しかし、今改めて読み返してみると、違う感情がわいてきたのです。本当に、この通りに避難ができるだろうか、想定外のこと不起きたら？さらには、防災小説を書いた当時、姉は高3で、今は大学生。他県での一人暮らしです。いざという時、頼れる家族が一人減ってしまった。このような家族の状況の変化にも、対応していかなければならない。

さらに、私の家族は祖母と同居しているため、防災小説にも、祖母と一緒に避難することをイメージして書きました。待つて、私の近所には、車椅子で生活するおじいさんが住んでいるんだ。そのことを思い出したのです。奥さんとの二人暮らし、高齢のため、夫婦が自力で避難することは非常に難しいのではないかと。災害時、私は、家族を単位として避難行動を考えていましたが、隣の家族同士が助け合う必要があると、改めて考えるようになりました。

「災害弱者」である人の命をどう守つたらよいか。皆さんは、どのよううに考えますか？私は、日頃からの声かけや、生活の様子を把握しておくこと、いざという時に助け合える

関係づくりが重要だと考えます。より多くの人が安全に避難するために、日常の中で「視野を広くもつ」ことが大事なのです。

本校のもう一つの取り組みとして「避難所開設訓練」があります。私は、これまで二回経験しました。これを通して、中学生の私たちは、社会の中で「助けてもらう側」ではなく、「助ける側」としての行動が求められるのだ、と感じました。過去二回の訓練は、先生方が計画を立ててくださったのですが、今年の訓練では、もつと生徒からアイデアを提案し、生徒主体の訓練ができないか。例えば、学区内の幼稚園や小学校との合同訓練、ALTの先生方など市内に住む外国の方々を招いた訓練、障害のある方やペットを連れてくる人の受け入れなど、より幅広い想定でできないか。生徒会で話し合えばと考えます。

「防災」という意識は、何事もなく過ごすことのできている日常の中で、どこか忘れてしまいがちです。しかし、大災害は、いつどんな時に襲ってくるか分らない。「もしも」の心がけを日常の中に。これが私が一番、皆さんに伝えたいことです。自分の、家族の、そして地域の人の安心安全な暮らしのために、中学生の私たちができることは何か。皆さんも、小さなことから、行動を起こしていきたいと思います。

### 青少年育成能代市民会議会員(個人・団体)募集中!

青少年育成能代市民会議は、青少年の非行防止と健全育成のために、積極的に市民運動を推進している自主団体です。どなたでも会員になれますので、役員や事務局へお申し込み下さるよう、お願い致します。



- ◆年会費 ・個人会員 300円 ・協賛団体 2,000円
- ◆会長 田中 仁純54-8850 ・副会長 伊藤 誠73-4852 ・副会長 田村 重由54-5019 ・副会長 楠 清孝53-5341
- ・監事 船山 捷治53-4487 ・監事 清水 博文73-5711 ・事務局 楠 清孝53-5341 ・事務局 藤田 弘子73-6308
- ・会計 山崎 昌子89-5010 ・教育委員会生涯学習スポーツ振興課73-5285 ・あきた未来創造部女性活躍課018-860-1554
- ◆常任委員 ・山崎 陽子 ・山田 貢 ・佐藤 俊子 ・田村 久子 ・土崎 博之 ・高橋 信行 ・大塚 節子 ・三澤 弘文
- ・山田 俊巳 ・木村 高寛 ・大塚 和行 ・照井賀津子 ・成田 裕一

◎個人会員並びに協賛団体のご協力とご支援に感謝申し上げます。

